

大阪府立工芸高等学校
創立100周年



KOGEI SENIOR HIGH SCHOOL
100th ANNIVERSARY



美術科

FINE ART



多彩な表現手法と技術を、体験学習を通じて学び、
美術への好奇心と創作意欲を持つ個性豊かな仲間たちと、
刺激を受け、競い合いながら、表現者としての志を高めます。

洋画、日本画、彫刻、デザイン、素描、構成、美術概論、鑑賞研究、美術史、
美的探求、表現探求、実技勉強会・体験型講座（デッサン、色彩、油彩画、
日本画、版画、染織、陶芸、CG、人物モデルなど）



大阪府立工芸高等学校

OSAKA PREFECTURAL KOGEI SENIOR HIGH SCHOOL

■ 授業内容の紹介

3年間を通じて学ぶ素描、構成、色彩



美術の基礎知識や造形の基礎となる「素描」「構成」「色彩」を様々なアプローチで繰り返し学びます。2年生からは各自の希望で、絵画(洋画)、絵画(日本画)、彫刻、ビジュアルデザインの4つの専攻に分かれ、少人数の班別学習によるきめ細やかな指導のもと、より専門的な知識・技術を学びます。

授業時間は、一般教科58%、専門教科42%と、実技指導を重視します。



美術科のカリキュラムでは卒業生の大半が進学を希望することを踏まえて作られています。一見すると専門教科ばかりに見えますが、例年クラスの半分ぐらいが大学入学共通テストを受験しています。



美術概論 / 鑑賞研究 / 美術史

1年生では風土・歴史・社会での「美術を学ぶ意義」について、2年生では鑑賞や追体験による作品研究、3年生では世界諸地域と比較しながら、美術史を体系的に学びます。

美的探究 / 表現探究

1年生では「美的探究」、2・3年生は「表現探究」で、専門的な知識・技術を、個の表現に留めず「手段・手法」として自分に何ができるのか、総合的なアプローチで追求します。

美術科の基礎実習

素描・構成・絵画・美術実習

観察力、描写力、表現力と、その理論からなるデッサン力を、さまざまな題材(モチーフ)・手法で取り組む「素描」、形・素材・色彩等をまとまりのある作品として組み立てる手段、色彩の理論や構図法の考えを学ぶ「構成」、伝統的な手法と自分の表現を試みる「絵画」を3年間にわたり繰り返し学びます。3年生の「美術実習」では身に付けた知識や技術を生徒ひとりひとりの将来に向けて発展させた、より実践的な力として磨きます。



2年次からは4つの選択専攻があります。

絵画（日本画）

素材の美しさを表現することが求められるため、美しいものを発見し、美しいと感じる心を養うことを大切に表現技法を学びます。



絵画（洋画）

描く対象を観察し、知的に分析した上で、感覚や心で感じたものを加えます。おもに油絵の具で立体的に表現することをめざします。



ビジュアルデザイン

生活に有益なものを創造することが求められるため、互いの感性を認め合い、コミュニケーションを通じて表現力を高めます。



彫刻

写実表現に重点を置き、自然界の美を学んだ上で、さまざまな素材を駆使して自分の個性を表現することを学びます。



放課後や休業日にも希望者を対象とした学びの場を提供しています。

実技勉強会

進路や日々の制作力の向上を目指して実践的な実技力を高めます。



体験型講座・見学会

授業だけでは取り組みえない美術・工芸のさまざまな技法や題材に挑戦します。美術館への見学や校外へのスケッチなどにも出かけます。



美術科で取り組んでいること

かたちを変えて使える造形力の基礎を繰り返し磨き、試行錯誤しながら失敗を恐れず探究する場とさまざまな表現との出会いの機会を3年間にわたり提供しています。



▲ 工芸展では巨大な力作が並び観覧客を圧倒します。

美術科の時間割（例）

1年

	月	火	水	木	金
1	LHR	数学I	化学基礎	現代の国語	数学I
2	現代の国語	公共	数学I	保健	英語コミュニケーションII
3	体育	言語文化	素描	言語文化	家庭基礎
4	英語コミュニケーションII	英語コミュニケーションII		体育	基礎
5	公共	構成	基本の英語	美術概論	絵画
6	化学基礎				
7	美的探究				
8					

2年

	月	火	水	木	金
1	LHR	生物基礎	数学A	地理総合	英語コミュニケーションII
2	英語コミュニケーションII	体育	英語コミュニケーションII	彫刻・絵画（洋画）・デザイン	物理基礎
3	物理基礎	鑑賞研究	地理総合	英語表現I	生物基礎
4	数学A			英語表現I	体育
5	彫刻・絵画（洋画）・デザイン	保健	構成	古典探究	素描
6		英語表現I			
7	表現探究	※2年生の表現探究には文章表現（国語科担当）を含みます。			
8					

3年

	月	火	水	木	金
1	LHR		美術史	歴史総合	英語コミュニケーションII
2		美術実習	美術史	英語演習	体育
3	美術実習		英語コミュニケーションII	体育	彫刻・絵画（洋画）・デザイン
4		古典探究	体育	古典探究	
5	古典探究	英語演習	彫刻・絵画（洋画）・デザイン	素描	情報I
6	英語コミュニケーションII	歴史総合			
7	表現探究				
8					

卒業生の声

Hair Stylist / Moe Mukai
Photographer / Katja Mayer
Model / Sonya Mohova
Stylist / Kieran Kilgallon
Makeup / Mee Kee



ヘアスタイリスト（ロンドン在住） 向井 萌さん

平成18年 美術科卒業

私の高校三年間はとても贅沢な時間で、今でもあの時、美術科に進んでよかったと思います。漠然と絵を描くことが好きだった私が思う存分描く事ができる場所で、それを受け入れてくれる先生や仲間がいて、心から創る事を楽しむ事ができた特別な時間でした。当時は今の仕事について何も知りませんでした。自分が好きで興味を持った事を追いかけた先の延長線上で自然に繋がったと思っています。私の仕事は人を通して表現をする仕事です。ファッションは流れが早く、多くの人と関わり、何を求められているかを考え発信する仕事です。海外では様々な価値観の人達と一緒に創り上げていくため、しっかりと自分を持つ事が大切で、制作するという事は自分自身に向き合う大切な事です。芸芸高校で何かに対して突き詰め向き合う事の楽しさや、自分に可能性や自信を持つ経験が大人になった今も私を支えてくれています。



現代彫刻家 大西 康明さん

平成9年 美術科卒業

美術作品を制作して発表するという現在の活動は芸芸高校で学んだことが影響しています。様々な分野の技術や可能性に触れて、表現するという事を早くから意識できる環境でした。自分の興味がある部分にエネルギーを注いで、ちょっとしたくらいはみ出した部分の結果になっても自信が持てる雰囲気があるって、何かを作った形にすることを後押しして助けてもらった場所です。漠然と作りたいものは頭にあるけどなかなか形にならないものが、最終的に自分の手で作り出した作品となった時にはやっぱり嬉しくて、人に見せたくなって、人に見せたり他の作品と並ぶとだめなところも見えてきて、そんな満足できない部分は次どうにかしようと思ったりまた何かを作り始める。作品の形は変わっても当時から現在まで繰り返し続いています。

■ 近年の美術科進路状況

＜国公立＞ 京都市立芸術大学 / 金沢美術工芸大学 / 長岡造形大学 / 富山大学 / 尾道市立大学 / 広島市立大学 / 沖縄県立芸術大学 / 滋賀大学 / 鳴門教育大学 / 大阪市立デザイン教育研究所

＜私立＞ 多摩美術大学 / 武蔵野美術大学 / 京都精華大学 / 京都芸術大学 / 京都美術工芸大学 / 成安造形大学 / 神戸芸術工科大学 / 近畿大学 / 大阪芸術大学 / 大阪芸術大学短期大学部 / 嵯峨美術大学 / 嵯峨美術短期大学 / 奈良芸術短期大学 ※くわしくは芸芸高校 HP の美術科進路状況一覧を参照 ▶



＜卒業生の社会での活躍＞

美術科の卒業生の大半は、美術・芸術系大学やデザイン系専門学校への進学を希望し実現しています。そこでさらに専門性を深化させ、創作・発表活動だけでなく、企業やデザイン事務所、教育関係などの現場でデザイン・造形の専門家として活躍しています。近年の先輩講座では、株式会社アシックス / トヨタ自動車株式会社 / 任天堂株式会社などから参加していただきました。



大阪府立工芸高等学校
OSAKA PREFECTURAL KOGEI SENIOR HIGH SCHOOL

〒545-0004 大阪市阿倍野区文の里1-7-2
TEL 06-6623-0485 FAX 06-6623-8419